



## USER MANUAL



パッケージ内容例 (製品によって内容が変わります)



**注意**

Eject®ヘルメットリムーバルシステムはモータースポーツにおける事故での脊椎、脳、頭、首などへの負傷のリスクを取り除くことができるわけではありません。



## 重要事項 必ずお読みください

- Eject®ヘルメットリムーバルシステムをご使用になる前に、必ずユーザーインストラクションを読み、製品についてよく理解した上でお使いください。
- 実際の事故の際にEject®システムをご使用になる場合はEject®システムについて学んだレスキュー隊員や救急救命士がシステムを起動させることをお求めいたします。
- もしEject®バルブをご購入された場合、このインストラクションをバルブと一緒に持ち歩いてください。
- Eject®システムを設置したヘルメットをレースで使用する場合、レース会場やトラックのオーナー、またはマネージャーなどと事前に話し合い、Eject®システムの愛用について熟知し訓練された人材を用意するようにしてください。また、当日会場にいる家族や友人がこのインストラクションを手渡し、万が一の際に救急救命士にこのインストラクションが渡るようにしてください。



- 最適な性能を保つために、シンプソンは未使用でもEject®システムを24ヶ月ごとにお取替えることをおすすめします。
- 1度でも起動させたEject®システムは取り外して廃棄してください。
- さらに詳細な情報や質問などはシンプソンEjectサポートセンターまでご連絡ください。  
+1-800-654-7223、または [texasales@teamsimpson.com](mailto:texasales@teamsimpson.com) (すべて英語での対応となります。)
- [SimpsonRacePrProducts.com](http://SimpsonRacePrProducts.com)

## 設置インストラクション：ヘルメットキット

設置前に：もしも練習用空気袋を購入された場合は、練習用空気袋を先に設置してください。その後、本番用空気袋を設置する前に次ページにある練習用空気袋インストラクションに従って起動を練習してください。練習用空気袋は練習用として再利用可能ですが、本番用の空気袋は再利用できません。

ヘルメットに空気袋を設置する前に、空気袋にくっついているEject®期限ステッカーのクリヤーを下図のようにめくり、設置年月日を記入してください。記入したらクリヤーにくっついている白い台紙をはがし、クリヤーをステッカーに貼り付けてください。

- 1 ヘルメットをひっくり返し、後頭部を設置者の体側へ向け、あご部分を設置者の体とは反対側へ向けてください。
- 2 ヘルメットのライナー構造をよく観察し取り外し可能なライナーなどを調べてください。チューブはEPSとライナーの間を通します。



ギャップや隙間を調べて下図のように空気袋をヘルメットの天辺に設置した後、チューブのルートを決めます。チューブはEPSとライナーの間を通し、下図Figure A-1のようにヘルメット装着者の左側にコネクターが出るようにします。

ヘルメットによってはライナーを少し切削してチューブの通り道を作る必要があります。EPSやシェルには絶対に穴をあけたり削ったりしないでください。

- 3 Eject®空気袋をヘルメット天辺の真ん中に置きます。このときチューブが向かって右側になるようにします。(ヘルメットを被ったときに左側になるようにする)。この時点ではまだ空気袋をヘルメットにくっつけないでください。

- 4 空気袋につながるチューブをヘルメットの内部の形に沿うようにEPSとライナーの間に通して下図Figure Bのようにコネクターを出します。このとき、空気袋がヘルメット天辺からずれないようにしてください。

**危険**

ヘルメットシェルは絶対に改造しないでください。



ヘルメットによっては別のルートでチューブを通す必要があるかもしれません。空気袋コネクターがヘルメットを被ったときに左側になるようにせちしてください。チューブが途中で撥れて空気が通らない状態になっていないかチェックしてください。

設置インストラクションビデオが [SimpsonRaceProducts.com](http://SimpsonRaceProducts.com) にあります。(英語)

**警告**

Eject®空気袋は必ず影らませることを前提とした状態でないといけません。ヘルメットライナーや天頂パッドをEject®空気袋に接着剤などでくっつけたりしないでください。いざというときに空気袋が影らまない場合があります。

Figure B.



5. コネクターをヘルメットの下部に設置したら、付属のマジックテープで右図Figure Cのように位置を固定してください。
6. チューブが正しく設置できたら、Eject®空気袋をヘルメット天辺の真ん中にくるようにして、空気袋に付属しているテープの台紙をはがしてヘルメットのEPSとライナーの間に設置してください。
7. ヘルメットライナーを元の位置に戻してください。



Figure C.

**警告**

ヘルメットを実際に使用する前にEject®の位置を毎回必ず確認してください。場合によっては位置がずれる場合がございます。位置が正しくないときEject®の効果が半減し深刻な負傷につながる場合があります。

万が一Eject®の位置が変わって元の位置に戻せない場合、またはEject®に何かしらのダメージがある場合はヘルメットをしようする前にEject®を新しいものに替えてください。

8. Eject®設置済みステッカーをヘルメットの外側、コネクターの近くにFigure Dのように貼り付けてください。これは救急救命士がいざというときにEject®システムの有無について確認するのに役立ちます。

Figure D.

もう一つのEject®設置済みステッカーをヘルメットの内側、チンバーの下の部分に貼り付けてください。これはヘルメットの左側が見えない場合に救急救命士がEject®の有無を確認するのに役立ちます。



**警告**

- Eject®ヘルメットリムーバルシステムを改造しないでください。改造すると正しく作動しない場合があります。
- Simpsonがおすすめするアイテム以外で空気袋を膨らませないでください。怪我や事故の元になります。

### 練習用空気袋の使用

**警告**：この練習用空気袋は練習用としてのみ使用してください。決して本番用としてヘルメットに設置しないでください。



まず最初の練習用空気袋を膨らませる練習はヘルメット装着者本人がしてください。それにより、実際にEject®がどのように機能するのかを経験することができます。

練習用空気袋は練習用にまた使用することができますので膨らませた後は空気を出し、空気が完全に抜けたら元のよう折りたたんで保管してください。次に使うときまでテープなどでまとめておくとも良いでしょう。

- もしも救急救命士がない場で緊急事態が起こったとき、練習用空気袋での練習が役に立ちます。
- 練習用空気袋はあくまで練習用です。本番では絶対に使用しないでください。
- 練習後は練習用空気袋をヘルメットから取り外し、本番用のEject®システムを設置してください。設置の際はインストラクションに従ってください。

**警告**

緊急の際は訓練された救急救命士にEject®ヘルメットリムーバルシステムを起動してもらうことをおすすめします。特に、Eject®システムの起動について適正な訓練を受け、練習を終えた救急救命士がEject®ヘルメットリムーバルシステムを起動することが好ましいです。

**保証免責**

Simpsonまたは販売主はインストラクションに沿わない不適切な使用で引き起こされたあなた自身、他の人、またはいかなる設備、備品に対する負傷、損害等に関して何の責任も負いません。

適用される法律の範囲でShock Doctor、販売主はともに商品的確性、特定の目的における適切性の保証、またはいかなる明示、黙示の保証もいたしません。

### Eject®ヘルメットリムーバルシステム手順

- 危険**：ヘルメット天辺に構造的な損傷がある場合、Eject®空気袋を膨らませないでください。
- 警告**：もしも緊急時に救急救命士以外がEject®システムを起動させる場合、インストラクションを必ず読んでください。適切に起動させないと大きな怪我につながる場合があります。

緊急事態が起き、救急救命士が不在のままEject®システムを起動させる場合、救急救命士が到着するまで補助の人に要救助者の頭と首が動かないように優しく固定してもらってください。

1. Eject®を起動する前に、ヘルメットのチンストラップが解かれているか、または切られているかを確認してください。慎重に要救助者のメガネやゴーグルを取り外してください (Figure A)。

**危険**：ヘルメットを取り外す間は必ず要救助者の頭と首を支えて固定し、必ず気道を確保してください。

2. バルブをEject®空気袋のコネクターに取り付け、バルブを押して空気袋を膨らませます (Figure B)。もしもEject®が膨らまない場合、バルブの弁が閉まっているか確認してください。

3. ヘルメットが要救助者の鼻を通り過ぎるように優しく補助し (Figure C)、ヘルメットを要救助者から取り外してください (Figure D)。

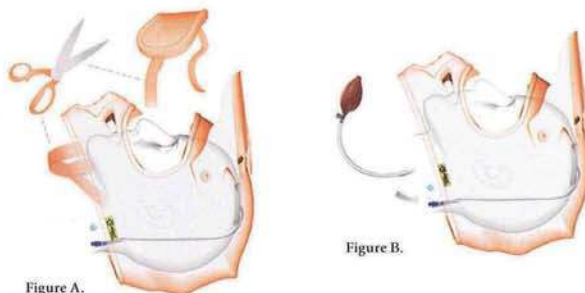


Figure A.

Figure B.



Figure C.

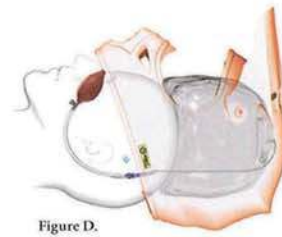


Figure D.



## 救急救命士用インストラクション



## 救急救命士用インストラクション

頸椎固定について訓練されたプロの救急隊員のみが Eject についての学習と訓練を行った上で Eject を作動させてください。

もしも頭自体の怪我が疑われる場合や、砂利、ガラス、その他の異物がヘルメット内に入り込んでいる場合は Eject を作動させないでください。

ヘルメットに Eject システムを設置してレースや大会に出場する場合、事前に大会主催者などと打ち合わせて Eject を作動できる人員を備えておくようにしてください。

また、このインストラクションを当日会場にいる家族、友人などに渡し、もしもの場合に救急救命士や緊急対応要員にこのインストラクションが手渡されるようにしておいてください。

1. まず Eject システムが要救助者のヘルメットに設置されているか確認してください。

「Eject 設置済みステッカー」と空気袋につながるチューブがヘルメットの底部にないか探し、以下のインストラクションに従ってください。

もしもチューブが見つからず、Eject が事前に設置されていない場合

2. Eject 空気袋を要救助者のヘルメットに挿入する前に、ヘルメットに要救助者の頭を負傷させるような構造的なダメージや穴が開いていないかを調べてください。もしも頭に怪我を負っている可能性が高い場合や砂利、ガラス、その他の異物がヘルメット内に入り込んでいる場合は Eject システムを作動させないでください。

Eject を挿入し作動させる



3. もしも要救助者がメガネやゴーグルをはめている場合、慎重に取り外してください。

4. ヘルメットのチンストラップを解くか切ってください。

5. Eject 救急救命士用挿入ツールをヘルメットの外側、アイポート上部の真ん中に置

き、そこから要救助者の頭部天辺までの距離を測ってください。



6. チンガードなど取り外せるものを慎重に取り外し、ヘルメットと要救助者の頭の間に隙間を作り、ヘルメットの重量を少しでも軽くします。そうすることによって Eject ツールを挿入する隙間をつくれます。

7. Eject 挿入ツールをヘルメットのアイポート、要救助者の額部分から押し入れ、頭部の天辺に行くまで挿入します。



8. 白い挿入ツールをスライドさせてヘルメットから引き抜きます。あとは Eject がすでに設置されていた場合と同じように処理します。

チューブを発見し、Eject が事前に設置されていることがわかった場合

2. ヘルメットに要救助者の頭を負傷させるような構造的なダメージや穴が開いていないかを調べてください。もしも頭に怪我を負っている可能性が高い場合や砂利、ガラス、その他の異物がヘルメット内に入り込んでいる場合は Eject システムを作動させないでください。



3. Eject を膨らませる前に、ヘルメットのチンストラップを解くか切ってください。



4. 空気袋のコネクターにバルブか Co2 ポンプをつないでください。（Co2 ポンプは救急救命士専用です。） つないだら空気袋を膨らませてください。



5. ヘルメットが要救助者の鼻を通り過ぎるように優しく手を添えて誘導してください。ヘルメットを外している間はずっと要救助者の気道を確保するよう頸椎を支えてください。

## WARNING

モータースポーツやレースは危険を伴うものです。これらの競技への参加者は脳、頭、や首の負傷、およびそれに付随する後遺症や死に対するリスクを負うこととなります。競技へ参加する場合、その危険に注意を払い、セーフティギアを正しく使用してください。Eject™を使用したとしても、上記の危険を完全に回避したり危険を取り除くことはできないことをあらかじめご了承ください。

## 免責事項

Shock Doctor, Simpson Performance, Inc., Norix Projects Corp., およびトレーダーハウス株式会社はいかなる場合であっても SIMPSON 製品の販売、導入、使用、使用不能、または使用の結果に起因する直接的損害、間接的損害、特別損害、付随的損害、派生的損害、懲罰的損害、またはその他の損害（人命および体の損失含む）に対してその責任を一切負いません。

Simpson Performance, Inc.の製品は 使用する前に毎回必ず使用者がその損傷、欠陥、磨耗などの具合、程度などを確認することとします。製造者の製品使用、修理、交換、改良に関する基準からの逸脱は未必の故意に相当します。

Simpson Performance, Inc.の製品の導入は車両やその他の安全装置、製造品など（以下、その他の製造品）に悪影響を及ぼす可能性があります。適切、不適切に関わらず SIMPSON 製品の使用によって引き起こされたその他の製造品の故障、損傷、またそれに起因する身体的傷害などいかなる損害に対して Simpson Performance, Inc., Norix Projects Corp., およびトレーダーハウス株式会社は一切責任を負いません。

Simpson Performance, Inc., Norix Projects Corp., トレーダーハウス株式会社はこのインストラクションマニュアル内の誤字、脱字、略図、写真、説明図、文書の責任を負いません。

この製品を購入することにより使用者は、この免責条項の一部が現在または未来において法的に無効、履行不能とみなされた場合、その他の条項は無効、履行不能条項になんら影響されることなく完全に有効であるものとする事とともに、当該無効、履行不能の条項を当初の意図を達成しうる有効で履行可能な条項に自動的に置き換えるものとする事に同意したとみなされます。

## EJECTSAFETY.COM

Visit our comprehensive website where riders/drivers, Emergency Medical Services, dealers and track owners can find everything they need to know about Eject. EjectSafety.com has rider testimonials, product training videos, a dealer locator and more.

You can also find an event list and up to date information about recent scientific studies proving the safety benefits of the innovative Eject Helmet Removal System.